

# 不動堂の上棟 十二月九日

不動堂の建物の建設が始まりました。棟上げは十二月九日(月曜日)で、上棟式は午後三時を予定しています。

旧不動堂の解体は、十月二十三日から始まりましたが、解体作業前に、役員さん方や工事の関係者や、ご近所の方々の参加をいただいて、お別れの法要を営みました。

解体が進むと、建物の正面に当たる「向拝(こはひ)」と呼ばれる軒先の横木に慶応三年四月十五日に修復した記録が書かれました。修復工事をした棟梁は、大竹伊助と記され、世話人には八木の苗字や金谷の苗字が書かれていましたが、名前までは読

み取れません

でした。常楽寺の正

式の合併は明治二十

七年とされていますが、この不動堂の修復の

棟板を見ると、明治の合併よりはるか前(百

四十六年前)に不動堂の修復にも、杉之内の

寺役員さん方も参加していたことが推測さ

れます。

不動堂の建物は、十二月九日の上棟式までには、おおかたの木組みが完成して、まさに、むな木を組上げる式典となります。

この段階で建物の全形が整う事になります。不動堂の完成は、明年二月末日の予定ですが、建物の裏側にあたる西の境界は、石仏を移動して完全な土留工事をします。

# 新春初護摩法要は

## ご先祖をまつる菩提寺常楽寺で

新春初護摩法要は、常楽寺本堂で、午前〇時から厳修されます。

除夜の鐘、百八つの梵鐘の打ち鳴らしは、大晦日十二月三十一日の午後十一時から始められますが、その前にお出掛けいただいた方々に、整理券をお渡しいたします。また、記念品もご準備

いたします。

境内には、昨年以上に灯明をともし、寺の境内全体を幻想的な光で包んで、ご先祖様の靈を慰めるとともに、来る年をこの清浄な光で清め、より良い年としてお迎えいたします。

### の 家内安全

### 開運厄除

### 交通安全

### ○ 商売繁盛

### 福寿増進

上記の祈願の護摩札をご希望くださる方は、各地区の役員さんか寺へお申込ください。お電話でもお受け致します。なお、ご祈願される方の氏名も正確にお知らせください。ご祈願の献酬料(けんさんりょう)は、三千円です。お申込いただいた護摩札は、新春初護摩法要でご祈禱して、お渡しいたします。

また、別紙ご案内いたしましたように、「常楽寺 開運厄除け 名入れ福運願」ご希望の方は、だるまの大きさ、名入れすべき氏名など正確にお書きいただき、代金を添えて、申込用紙をそのままご提出下さい。

除夜の鐘の打ち鳴らしは、午前十一時よりはじめます。

初護摩法要は、午前〇時からと、早朝九時より厳修します。ご参加下さい。

